

たかあき

かつまた 孝明 です！



昭和51年4月7日生まれ（35歳）
出身 沼津市
住所 沼津市花園町
家族 父親（沼津市出身）
母親（伊豆市出身：修善寺）
妻・長男・長女

経 歴

〔学歴〕

しょうえい幼稚園
沼津市立門池小・門池中 卒業
静岡県立沼津東高校 卒業
学習院大学経済学部 卒業
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 卒業
（経営学修士：MBA取得）

〔職歴〕

平成12年4月 スルガ銀行株式会社入社
財団法人企業経営研究所 研究員
（地域経済産業分析）
経営企画部 人事担当マネージャー
平成22年12月 スルガ銀行株式会社退職
平成23年1月 自民党衆議院静岡県第6選挙区支部 支部長

— お願い！！ —



ポスターを貼らせてください！
田んぼ・畑・駐車場・庭先等どこでも
かまいません。第6選挙区支部までご
連絡ください！

いま、自民党が熱い！自民党員を大募集中！！

自民党に入党して、党員として自民党そしてかつまた孝明を支えてください！

入党資格

- ・ わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方
- ・ 満18歳以上で日本国籍を有する方
- ・ 他の政党の党籍を持たない方

党 費：一般党員 年額4,000円、家族党員 年額2,000円

申し込み方法

- ・ 自民党衆議院静岡県第6選挙区支部までご連絡ください。電話、eメール、直接お越し
いただいても結構です。



通
信

— 第 7 号 —

自民党衆議院静岡県第6選挙区支部
410-0048 沼津市新宿町 16-5 まるやビル 1-B
電話：055 (922) 5526 FAX：055 (922) 5527
ブログ：<http://ameblo.jp/t-katsumata>
公式サイト：<http://www.t-katsumata.com>
eメール：jimin@t-katsumata.com

静岡6区【沼津・伊東・熱海・下田・伊豆・伊豆の
国（旧韭山・大仁）・賀茂郡・駿東郡（長泉・清水）】

ボランティア大募集（6区支部まで連絡下さい）
まるかつ通信の企画・配布・街頭演説サポート・ポ
スター貼りなどなど、楽しい仲間と共に！

自民党 衆議院 静岡県第6選挙区支部支部長

たかあき

かつまた 孝明氏

の「新産業創出策」

～ベンチャー起業家の育成を促せ！～



二階俊博代議士（元経済産業大臣）と共に！！

日本経済の再生には、新産業創出が必要不可欠！

前号において、日本経済再生策として、個人の貯蓄から消費への流れを促すべきであり、その貯蓄の最大の理由である社会保障への不安を取り除くことが重要であるということ述べさせていただきました。

そして、前号に引き続き、日本経済再生においてまた異なる側面から策を述べさせていただきます。

いま日本経済再生において必要なことは、更なる金融緩和による金利引下げ及び融資枠の拡大はもちろんのこと、需要の掘起しである。要するに、いくらお金を渡しても欲しいものがなければ買わないことと同様である。

さらに少子高齢化・人口減少社会の到来により、必然的に経済のパイは縮小傾向になってくる。その時に、どこの自治体も口を同じくして「企業誘致」を叫んでいる。つまり、自治体の地域間競争の中で繰り広げられる誘致合戦においては、日本経済のパイはほとんど増えないこととなる。企業誘致を否定するつもりは毛頭ない。しかしながら、今、最も必要なことは需要掘起しであり、経済のパイを増やすこと、即ち、新産業創出なのである。

では、どうしたらよいのだろうか。

起業家育成のための金融制度見直しが急務！

新産業創出に不可欠なのが、ベンチャー起業家の育成である。

実は、このベンチャー起業家が日本では欧米と比べ非常に少ないのが現状である。これは、日本の金融文化が間接金融であるのに対し欧米は直接金融の文化であることも大いに関係している。

いま起業しようとして、最もネックとなるのが資金調達である。良いアイデアはあるのだけれどお金が無い。こうした時に、金融機関は、担保・保証人を鑑みて資金を提供する。しかしながら、若手起業家のそのほとんどがこうした担保とする資産はない。

いま起業家育成に最も必要なことは、こうした担保・保証人依存主義から脱却し、その事業自体を評価し、資金を投資する仕組みをつくることではなからうか。具体的には、投融資ファンド創設やエンジェル税制の促進などである。

若者が帰郷したくなるふるさとへ！

さらに富士山麓地域を中心としたファルマバレープロジェクトを活かし、医療・健康関連分野の起業家育成を支援していくことが重要である。

こうした新産業創出と共に、雇用を創出し、若者がふるさとに帰って働くことのできる環境を創っていくことが大切である。

世界に名立たる企業を輩出した静岡県が、今一度先頭に立ち、新産業創出に全力をあげていきたい！